

平谷村商工会 会長 西川 範明

平谷村は長野県の最南端に位置し、東は売木村、北は阿智村、南は根羽村、西は岐阜県恵那市に接しており、人口400人余りの長野県で一番小さな村です。標高は900メートル以上と自然条件が厳しい中で、中京圏に隣接し高原特有の気候を生かして観光開発が進められており観光産業は村の基幹産業となっております。

村内には観光の中核となっている「信州平谷温泉ひまわりの湯」、体験合宿施設「けいしょう館」、春から初冬までつりが楽しめる「平谷湖フィッシングスポット」、冬はファミリーで楽しめる「平谷高原スキー場」、この他パラグライダー体験、苔玉づくり、ゴルフ、乗馬体験など四季を通じて自然を満喫しながらゆっくり楽しんでいただけます。

また、高原特有の気候を生かしたみずみずしく甘みも強い「とうもろこし」、「トマト」、平谷村栽培の酒

米美山錦を使った日本酒「ごぎねぶり」や「甘酒」など多くの観光客の方に人気です。

村では移住定住について「人生たった一度しかない誰しも、もう一度やってみたいと思う夢がある そんな夢を叶える場所 平谷村は、新しいことに挑戦したいという熱いおもいを農林業、観光業、商工業など広い分野でサポートします」 とかかげ様々な支援策を行っております。

平谷村商工会は昭和35年に設立されました。小さな村ではありますが村内ほぼすべての商工業者が加入され、会員の協力を得ながら地域の商工業発展と地域住民の生活を支える事業を展開してきました。

三遠南信自動車道の開通、リニア中央新幹線開業と交通の流れが大きく変わろうとしています。観光立村である平谷村にとって新たな観光の大きなチャンスととらえ、三遠南信地域の関係機関と連携しながら、商工業者の経営の維持発展と持続可能な村づくりを進めていきたいと思っております。